

◇第8回瑠瑠(そうそう)の會(かい) 12日、熊本市中央区の崇城大ギャラリーで始まった。17日まで。同大芸術学部日本画コースの卒業生と在校生が年1回開く作品展で、約40人が約60点を展示。人物や風景、動植物などが題材で、メッセージ性のある作品が目立つ。4年中村妃菜さんの「倒壊」は、熊本地震で崩れた家屋がモチーフ。えんじ色を基調とし、地震でずれ落ちた屋根瓦を一枚一枚丁寧に描いた。地震の破壊力がストレートに伝わるほか、絵で地震を記録しようとした作者の意図も感じさせる。